

3 . 調査に対する評価

- 3-1 一般県民の満足度調査に対する評価 評価-2
- 3-2 有識者（市町村職員）の満足度調査に対する評価 評価-17
- 3-3 有識者（学識者等）の満足度調査に対する評価 評価-23

- 【補足】 県民満足度調査に対する評価（自由回答について） 評価-29

3. 調査に対する評価

3-1. 一般県民の満足度調査に対する評価

3-1-1 調査票記入の負担感

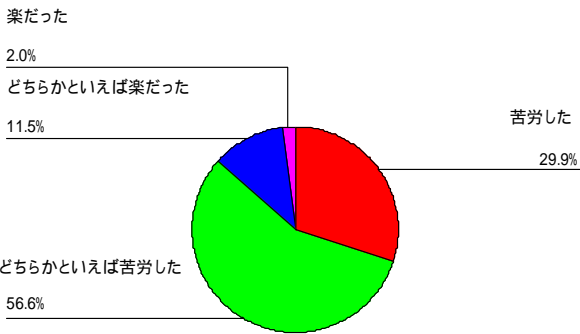
(1) 回答者全体

調査票記入負担感

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	苦勞した	494	29.1	29.9	29.9
	どちらかといえば苦勞した	934	55.0	56.6	86.5
	どちらかといえば楽だった	190	11.2	11.5	98.0
	楽だった	33	1.9	2.0	100.0
	合計	1651	97.2	100.0	
欠損値	5	48	2.8		
	合計	1699	100.0		

調査票記入負担感

(n=1651)



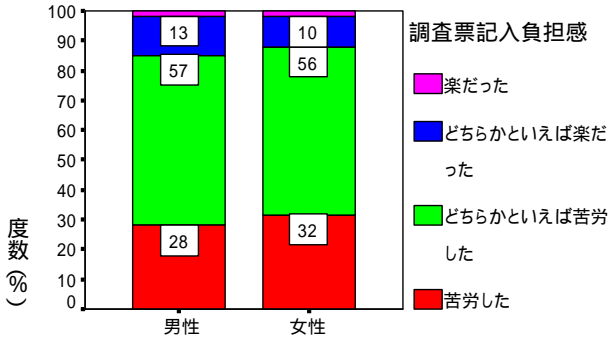
・ 「苦勞した」と「どちらかといえば苦勞した」を合わせた割合は86.5%を占め、回答者全体としては程度の差こそあれおよそ8割以上の方が何らかの負担を感じている結果が示された。

(2) 性別

調査票記入負担感

性別

(n=1651)



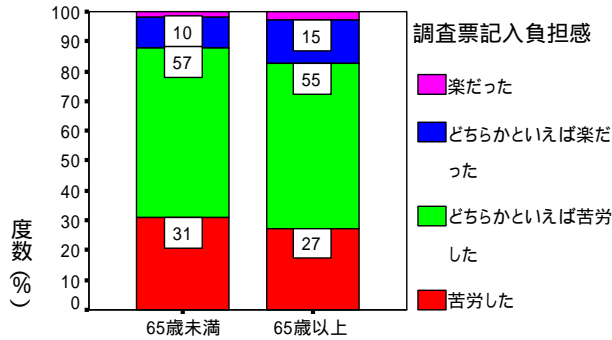
・ 「苦勞した」と「どちらかといえば苦勞した」を合わせた割合は、男性が85%、女性は88%で男性より3ポイント上回っているが、性別による大きな差はみられない。

(3) 65歳年齢区分別

調査票記入負担感

65歳区分別

(n=1651)



- 「苦勞した」と「どちらかといえば苦勞した」を合わせた割合は、65歳未満が88%、65歳以上は82%で、前者が6ポイント上回っている。

3-1-2 回答所要時間

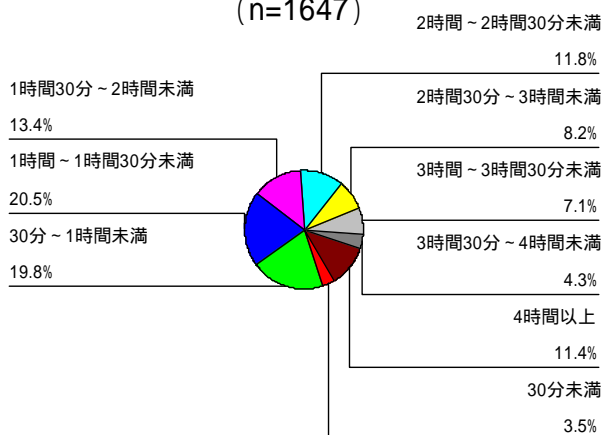
(1) 回答者全体

記入所要時間

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 30分未満	57	3.4	3.5	3.5
30分～1時間未満	326	19.2	19.8	23.3
1時間～1時間30分未満	338	19.9	20.5	43.8
1時間30分～2時間未満	221	13.0	13.4	57.2
2時間～2時間30分未満	195	11.5	11.8	69.0
2時間30分～3時間未満	135	7.9	8.2	77.2
3時間～3時間30分未満	117	6.9	7.1	84.3
3時間30分～4時間未満	71	4.2	4.3	88.6
4時間以上	187	11.0	11.4	100.0
合計	1647	96.9	100.0	
欠損値	10	52	3.1	
合計	1699	100.0		

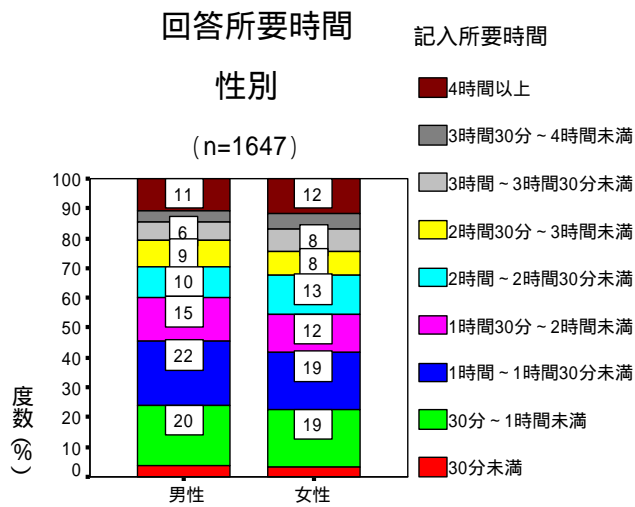
記入所要時間

(n=1647)



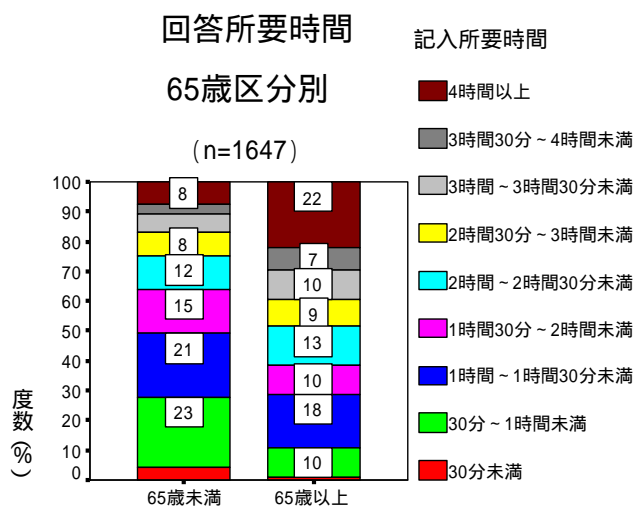
- 回答者の76.7%が回答に1時間以上を費やし、2時間以上費やしている回答者は全体の42.8%を占めている。また、4時間以上費やしている回答者も11.4%となっている。
- その反面、6割弱(57.2%)の人は2時間以内で回答していることがわかる。

(2) 性別



- ・ 男性で6割、女性でも5割強の人が2時間以内で回答している。
- ・ 4時間以上の割合をみると、男性が約11%、女性は約12%で大きな差はみられない。

(3) 65歳年齢区分別



- ・ 2時間以内で回答した割合は、65歳未満が6割強なのに対し、65歳以上は4割弱で、65歳以上が65歳未満を25ポイント上回っている。また、4時間以上の割合をみても65歳以上はおよそ22%で65歳未満を14ポイント上回っている。
- ・ 以上から、65歳以上のほうが、回答所要時間は総じて長い傾向がみられる。

3-1-3 この調査について感じたこと

(1) 回答者全体

参考資料だけでは情報不足

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	248	14.6	100.0	100.0
欠損値 2	1451	85.4		
合計	1699	100.0		

設問の量が多すぎる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	579	34.1	100.0	100.0
欠損値	2	1120	65.9		
合計		1699	100.0		

範囲が広すぎる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	701	41.3	100.0	100.0
欠損値	2	998	58.7		
合計		1699	100.0		

専門用語が多すぎる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	275	16.2	100.0	100.0
欠損値	2	1424	83.8		
合計		1699	100.0		

選択肢から一つだけ選ぶのが難しい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	577	34.0	100.0	100.0
欠損値	2	1122	66.0		
合計		1699	100.0		

選びたい選択肢がない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	184	10.8	100.0	100.0
欠損値	2	1515	89.2		
合計		1699	100.0		

文字が多くて読みにくい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	85	5.0	100.0	100.0
欠損値	2	1614	95.0		
合計		1699	100.0		

記入方法の説明が足りない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	79	4.6	100.0	100.0
欠損値	2	1620	95.4		
合計		1699	100.0		

点数で回答するのが難しい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	705	41.5	100.0	100.0
欠損値 2	994	58.5		
合計	1699	100.0		

関心のない分野は答えるのが難しい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	1009	59.4	100.0	100.0
欠損値 2	690	40.6		
合計	1699	100.0		

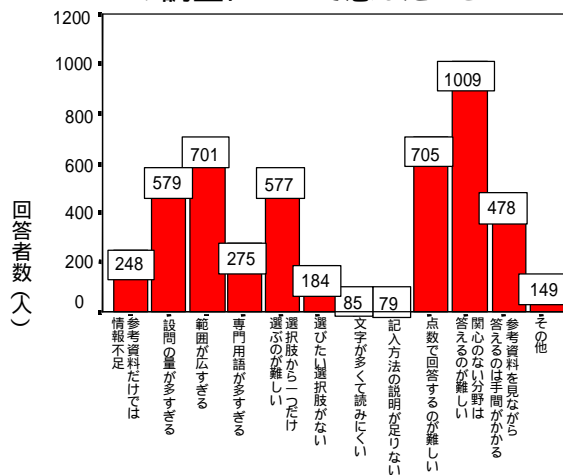
参考資料を見ながら答えるのは手間がかかる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	478	28.1	100.0	100.0
欠損値 2	1221	71.9		
合計	1699	100.0		

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	149	8.8	100.0	100.0
欠損値 2	1550	91.2		
合計	1699	100.0		

この調査について感じたこと



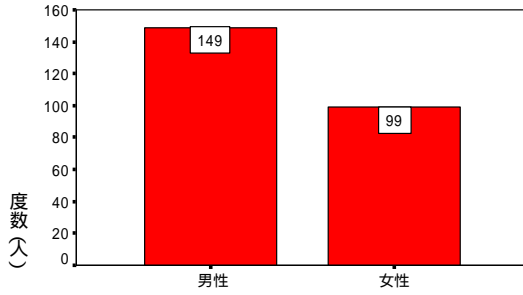
- この調査について感じたこと（複数回答）についてみると、「関心のない分野は答えるのが難しい」(1,009人)が最も多く、およそ6割である。次いで「点数で回答するのが難しい」(705人)、「範囲が広すぎる」(701人)が4割強で、以下、「設問の量が多すぎる」(579人)、「選択肢から一つだけ選ぶのが難しい」(577人)などとなっている。

(2) 性別

参考資料だけでは情報不足

性別

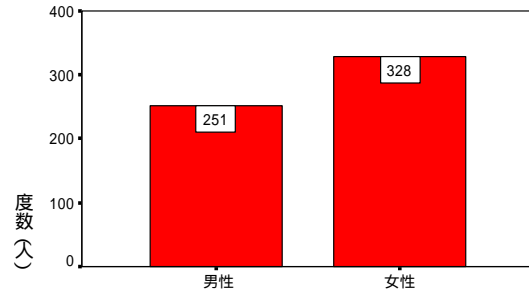
(n=248)



設問の量が多すぎる

性別

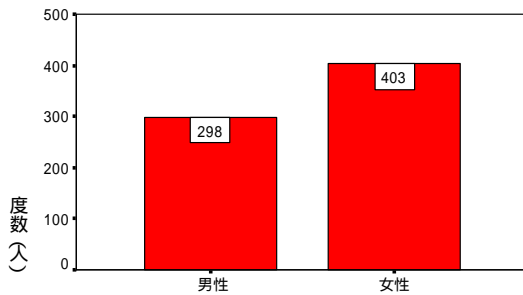
(n=579)



範囲が広すぎる

性別

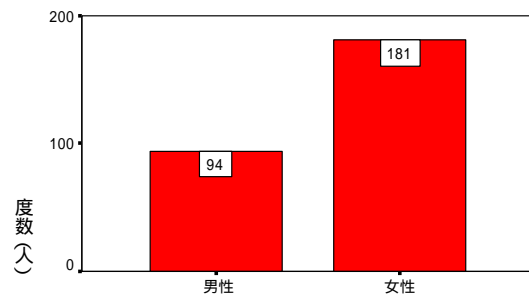
(n=701)



専門用語が多すぎる

性別

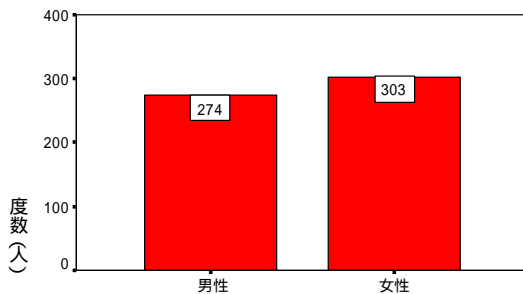
(n=275)



選択肢から一つだけ選ぶのが難しい

性別

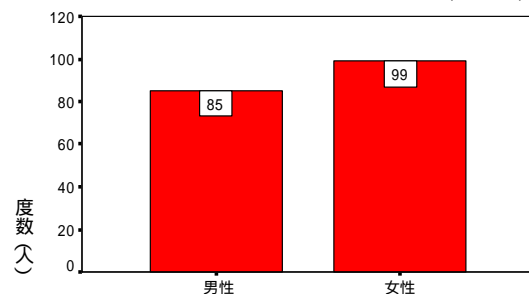
(n=577)



選びたい選択肢がない

性別

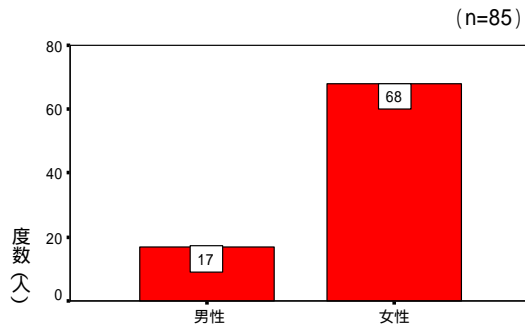
(n=184)



調査に対する評価

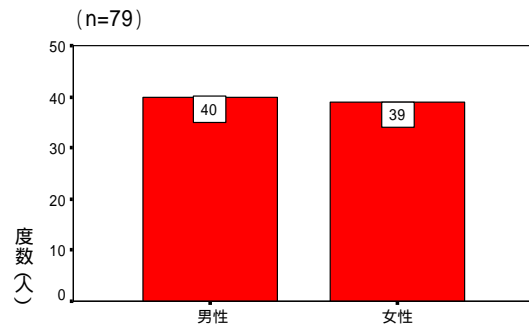
文字が多くて読みにくい

性別



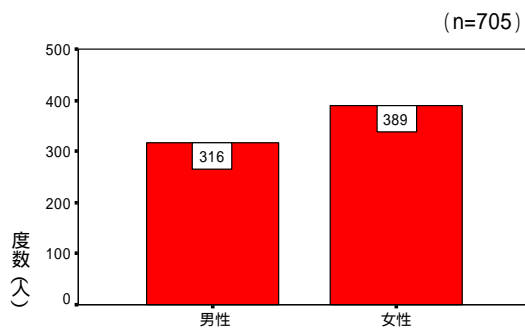
記入方法の説明が足りない

性別



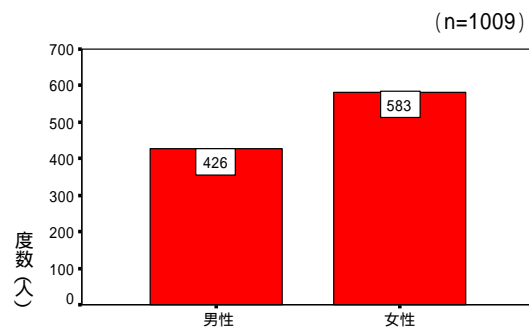
点数で回答するのが難しい

性別



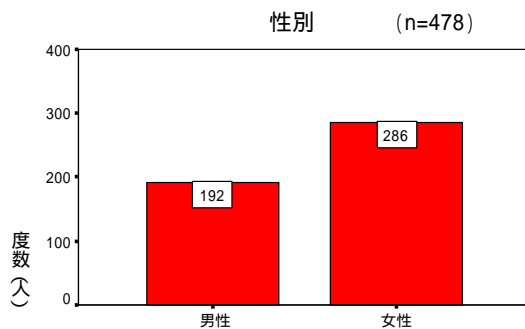
関心のない分野は答えるのが難しい

性別



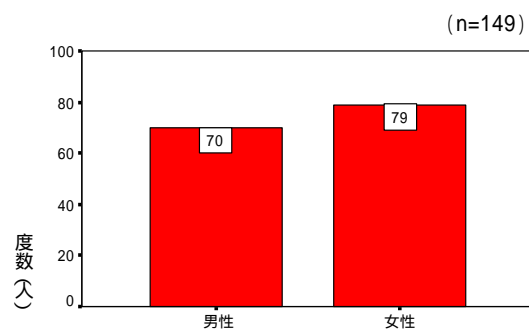
参考資料を見ながら答えるのは
手間がかかる

性別



その他

性別



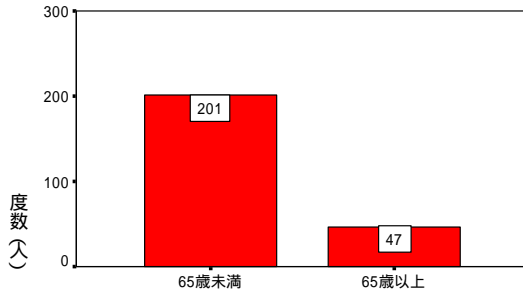
- 性別でみると、男女の差が小さいのは「選択肢から一つだけ選ぶのが難しい」「選びたい選択肢がない」「記入方法の説明が足りない」「その他」である。それ以外の項目は男女の差が開いており、うち「参考資料だけでは情報不足」は男性の回答が多く、そのほかは女性の回答が多い。

(3) 65歳年齢区分別

参考資料だけでは情報不足

65歳区分別

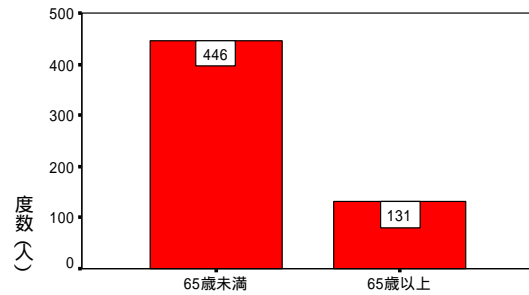
(n=248)



設問の量が多すぎる

65歳区分別

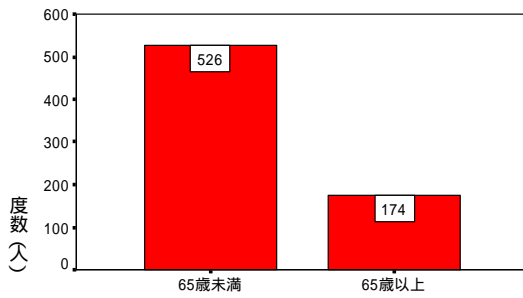
(n=579)



範囲が広すぎる

65歳区分別

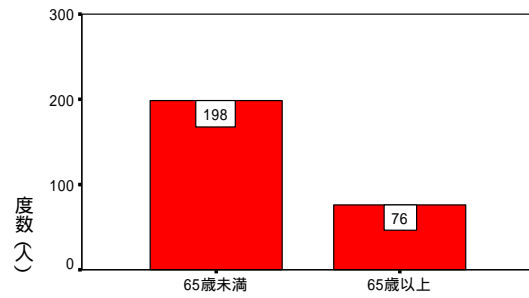
(n=701)



専門用語が多すぎる

65歳区分別

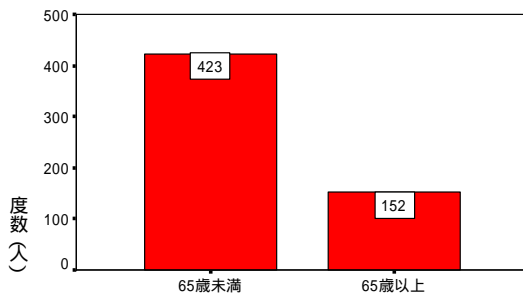
(n=274)



選択肢から一つだけ選ぶのが難しい

65歳区分別

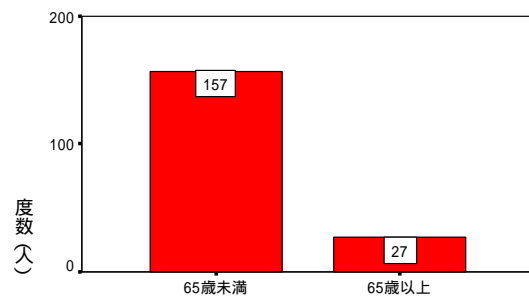
(n=575)



選びたい選択肢がない

65歳区分別

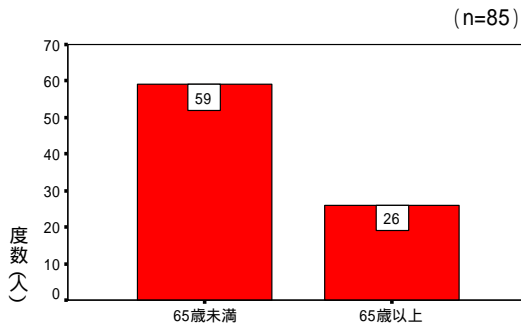
(n=184)



調査に対する評価

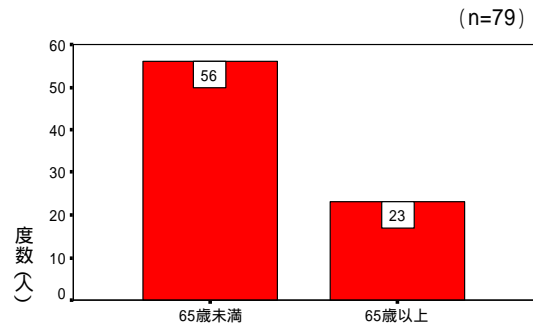
文字が多くて読みにくい

65歳区分別



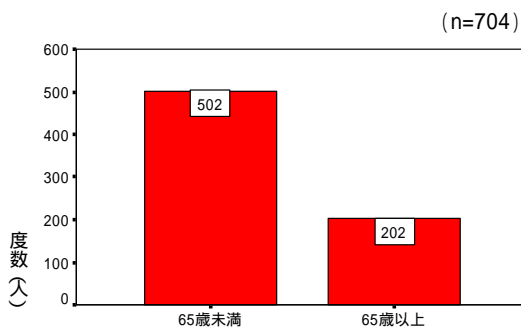
記入方法の説明が足りない

65歳区分別



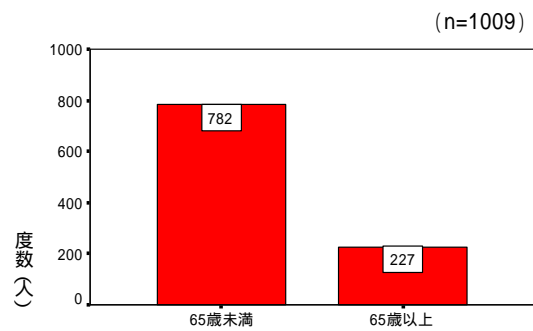
点数で回答するのが難しい

65歳区分別



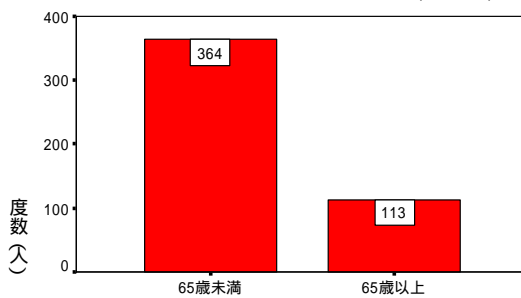
関心のない分野は答えるのが難しい

65歳区分別



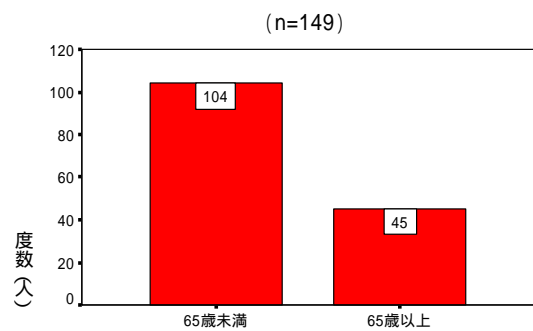
参考資料を見ながら答えるのは
手間がかかる

65歳区分別 (n=477)



その他

65歳区分別



- ・ 65歳年齢区分別で見ると、すべての項目の回答で65歳未満が65歳以上を上回り、かつ大きな差がみられる。

3-1-4 資料の有用性

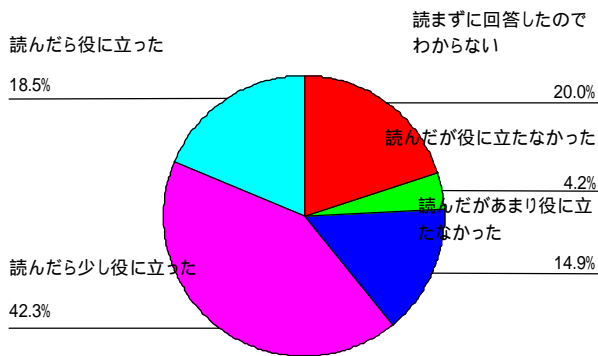
(1) 回答者全体

資料の有用性

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
読まずに回答したのでわからない	325	19.1	20.0	20.0
読んだが役に立たなかった	68	4.0	4.2	24.2
読んだがあまり役に立たなかった	242	14.2	14.9	39.1
読んだら少し役に立った	687	40.4	42.3	81.5
読んだら役に立った	301	17.7	18.5	100.0
合計	1623	95.5	100.0	
欠損値	6	76	4.5	
合計	1699	100.0		

資料の有用性

(n=1623)



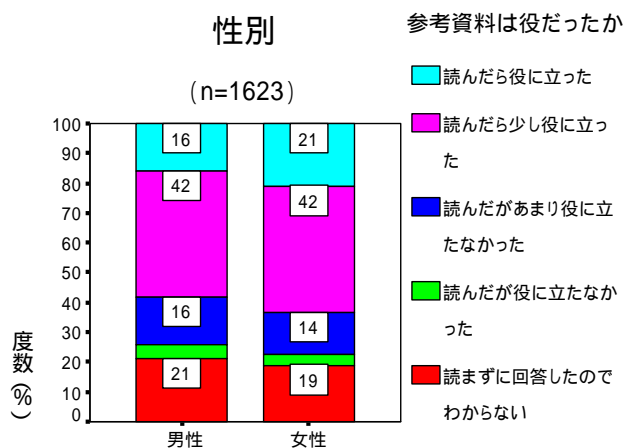
- ・ 「読んだら役に立った」と「読んだら少し役に立った」を合わせた割合は、回答者全体で60.8%を占めている。
- ・ 一方、「読まずに回答したのでわからない」も20.0%を占めている。

(2) 性別

資料の有用性

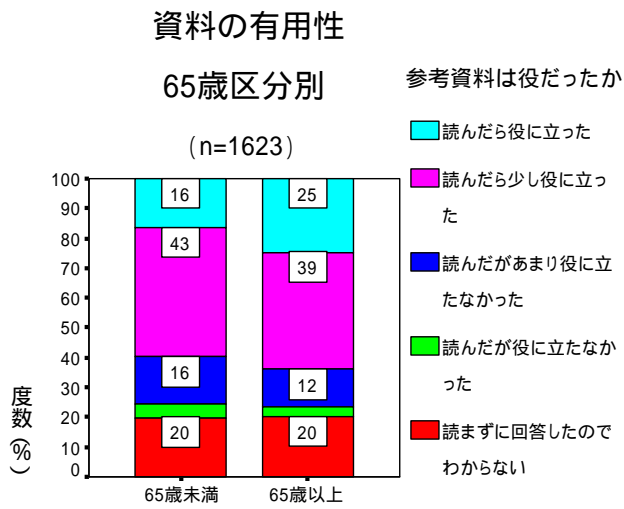
性別

(n=1623)



- ・ 「読んだら役に立った」と「読んだら少し役に立った」を合わせた割合は、男女とも6割前後で、性別による大きな差はみられない。
- ・ 「読まずに回答したのでわからない」は、男女とも2割前後となっている。

(3) 65歳年齢区分別



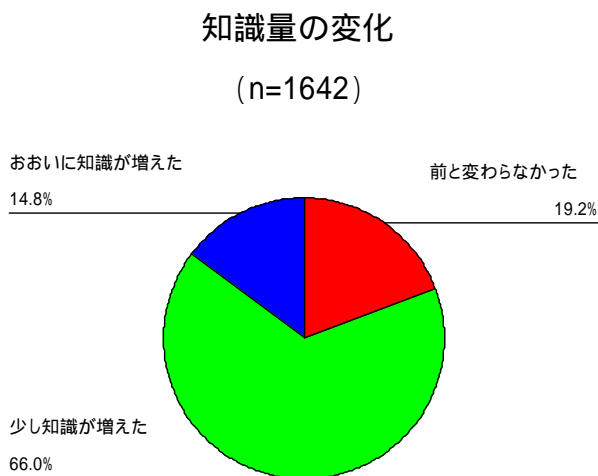
- 「読んだら役に立った」と「読んだら少し役に立った」を合わせた割合は、65歳未満が約59%、65歳以上は約64%で、65歳以上が5ポイント上回っている。

3-1-5 調査参加後の県政に関する知識量の変化

(1) 回答者全体

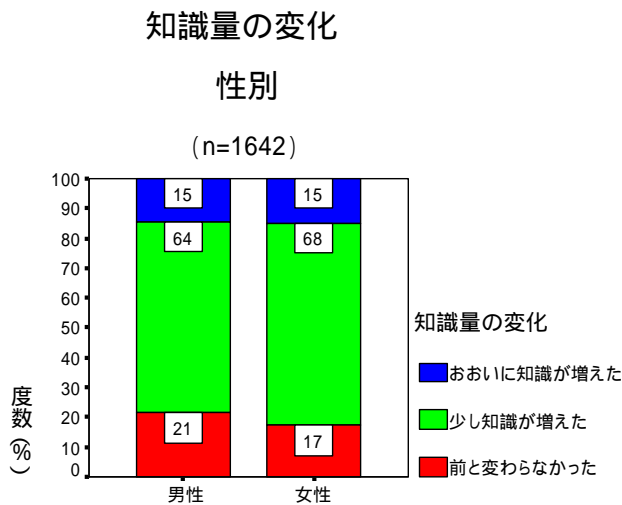
知識量の変化

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	前と変わらなかった	315	18.5	19.2	19.2
	少し知識が増えた	1084	63.8	66.0	85.2
	おおいに知識が増えた	243	14.3	14.8	100.0
	合計	1642	96.6	100.0	
欠損値	4	57	3.4		
合計		1699	100.0		



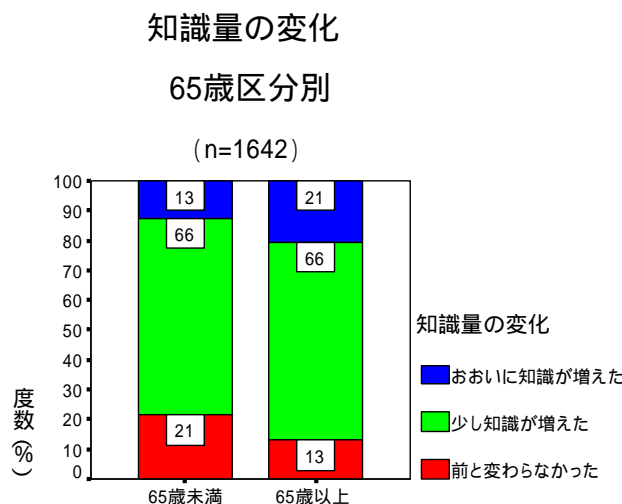
- 「おおいに知識が増えた」「少し知識が増えた」を合わせた割合は、回答者全体の80.8%で、「前と変わらなかった」も19.2%とおおよそ2割を占めている。

(2) 性別



- ・ 「おおいに知識が増えた」「少し知識が増えた」を合わせた割合は、男性が約79%、女性は83%で、知識が増えたと感じる割合は女性が4ポイント上回っている。
- ・ 逆に「前と変わらなかった」は男性(約21%)が2割を超えており、女性より4ポイント上回っている。

(3) 65歳年齢区分別



- ・ 「おおいに知識が増えた」の割合は65歳以上が8ポイント上回っているのに対し、「前と変わらなかった」では逆に65歳未満が8ポイント上回っており、65歳未満と以上との間で、知識量の変化の感じ方に差がみられる。

3-1-6 調査参加後の県政に対する関心の変化

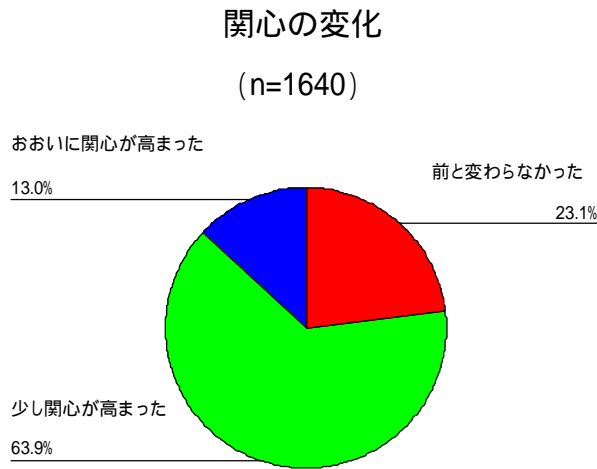
(1) 回答者全体

関心の変化

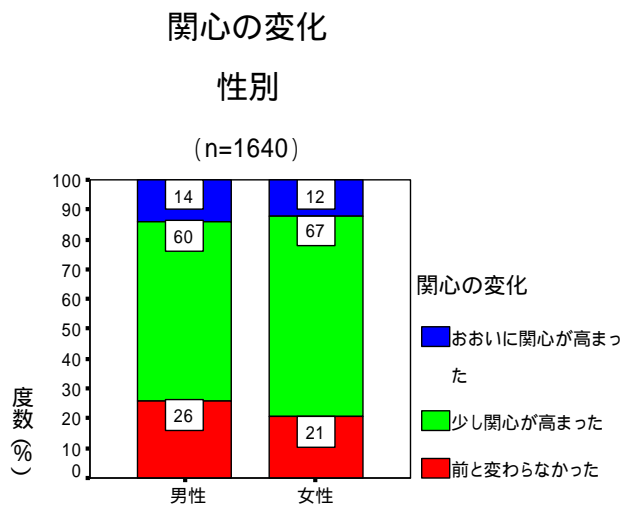
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	前と変わらなかった	379	22.3	23.1	23.1
	少し関心が高まった	1048	61.7	63.9	87.0
	おおいに関心が高まった	213	12.5	13.0	100.0
	合計	1640	96.5	100.0	
欠損値	4	59	3.5		
合計		1699	100.0		

調査に対する評価

- ・ 「おいに関心が高まった」「少し関心が高まった」を合わせた割合は、回答者全体の76.9%で、「前と変わらなかった」も23.1%と2割強を占めている。

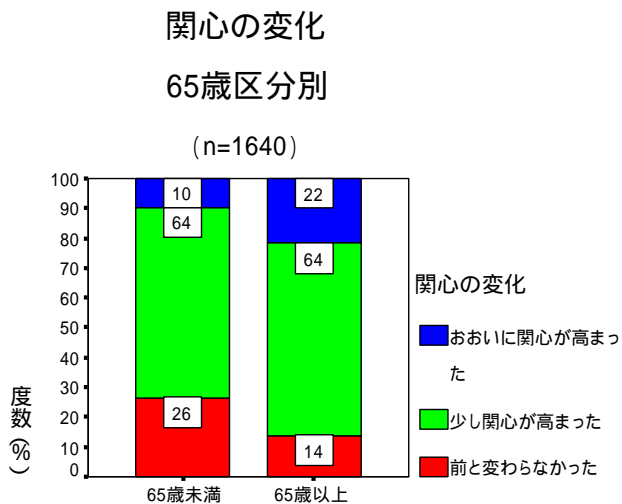


(2) 性別



- ・ 「おいに関心が高まった」「少し関心が高まった」を合わせた割合は、男性が約74%、女性は約79%で、女性が5ポイント上回っている。
- ・ 逆に「前と変わらなかった」では男性が女性を5ポイント上回っている。

(3) 65歳年齢区分別



- ・ 「おいに関心が高まった」の割合が、65歳未満の約10%に対し、65歳以上は約22%で、65歳以上が12ポイント上回っている。
- ・ 逆に「前と変わらなかった」では男性が女性を12ポイント上回っている。

3-1-7 調査の適切性

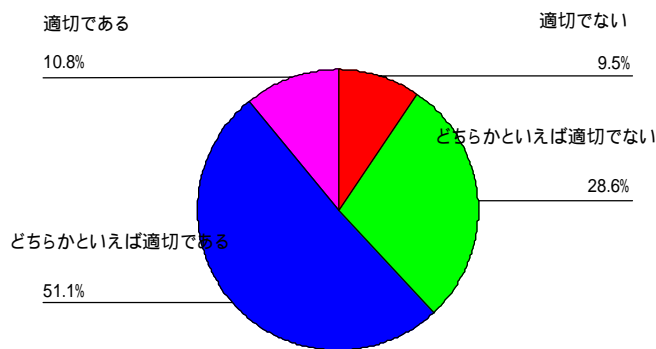
(1) 回答者全体

調査の適切性

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	適切でない	152	8.9	9.5	9.5
	どちらかといえば適切でない	460	27.1	28.6	38.1
	どちらかといえば適切である	821	48.3	51.1	89.2
	適切である	173	10.2	10.8	100.0
	合計	1606	94.5	100.0	
欠損値	5	93	5.5		
合計		1699	100.0		

調査の適切性

(n=1606)



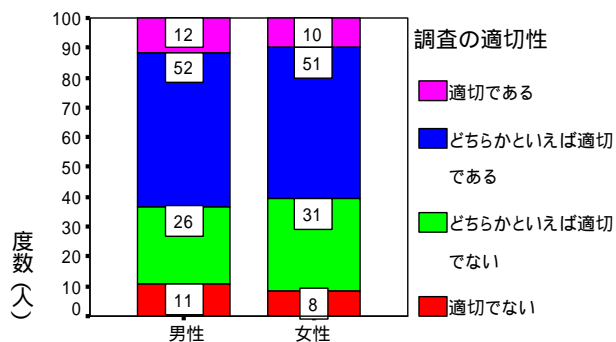
- ・ 「適切である」「どちらかといえば適切である」を合わせた割合は、回答者全体の61.9%で、「適切でない」「どちらかといえば適切である」を合わせた割合も38.3%を占めている。

(2) 性別

調査の適切性

性別

(n=1606)



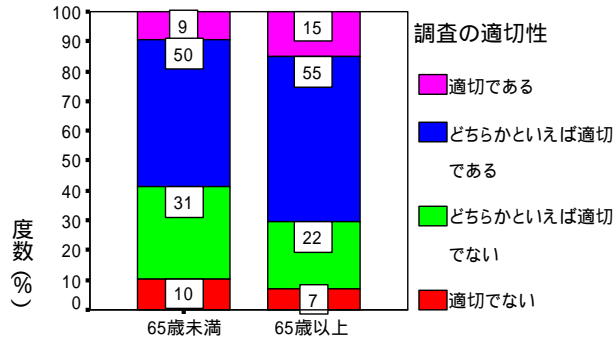
- ・ 「適切である」「どちらかといえば適切である」を合わせた割合は、男女とも6割強で、性別による大きな差はみられない。

(3) 65歳年齢区分別

調査の適切性

65歳区分別

(n=1606)



- ・ 「適切である」「どちらかといえば適切である」を合わせた割合は、65歳未満が約59%、65歳以上は約70%で、65歳以上が11ポイント上回っている。

3 - 2 . 有識者（市町村職員）満足度調査に対する評価

3-2-1 調査票記入の負担感

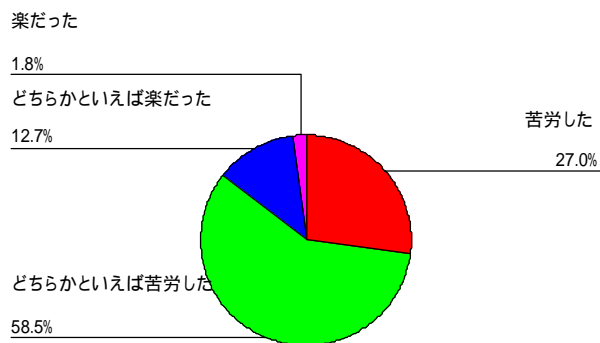
(1) 回答者全体

調査票記入負担感

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	苦勞した	89	26.3	27.0	27.0
	どちらかといえば苦勞した	193	57.1	58.5	85.5
	どちらかといえば楽だった	42	12.4	12.7	98.2
	楽だった	6	1.8	1.8	100.0
	合計	330	97.6	100.0	
欠損値	5	8	2.4		
合計		338	100.0		

調査票記入負担感

(n=330)



- ・ 「苦勞した」と「どちらかといえば苦勞した」を合わせた割合は 85.5%を占め、回答者全体として程度の差こそあれ 8 割以上の人が何らかの負担を感じている結果が示された。

3-2-2 回答所要時間

(1) 回答者全体

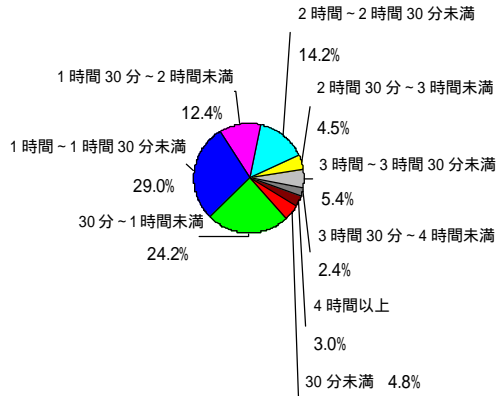
記入所要時間

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	30分未満	16	4.7	4.8	4.8
	30分～1時間未満	80	23.7	24.2	29.0
	1時間～1時間30分未満	96	28.4	29.0	58.0
	1時間30分～2時間未満	41	12.1	12.4	70.4
	2時間～2時間30分未満	47	13.9	14.2	84.6
	2時間30分～3時間未満	15	4.4	4.5	89.1
	3時間～3時間30分未満	18	5.3	5.4	94.6
	3時間30分～4時間未満	8	2.4	2.4	97.0
	4時間以上	10	3.0	3.0	100.0
	合計	331	97.9	100.0	
欠損値	10	7	2.1		
合計		338	100.0		

調査に対する評価

記入所要時間

(n=331)



- ・ 回答者の71.0%が回答に1時間以上を費やしている。
- ・ その反面、9割弱(89.1%)の人が3時間以内で回答していることがわかる。

3-2-3 この調査について感じたこと

(1) 回答者全体

参考資料だけでは情報不足

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	52	15.4	100.0	100.0
欠損値 2	286	84.6		
合計	338	100.0		

設問の量が多すぎる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	130	38.5	100.0	100.0
欠損値 2	208	61.5		
合計	338	100.0		

範囲が広すぎる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	128	37.9	100.0	100.0
欠損値 2	210	62.1		
合計	338	100.0		

専門用語が多すぎる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	24	7.1	100.0	100.0
欠損値 2	314	92.9		
合計	338	100.0		

選択肢から一つだけ選ぶのが難しい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	108	32.0	100.0	100.0
欠損値 2	230	68.0		
合計	338	100.0		

選びたい選択肢がない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	42	12.4	100.0	100.0
欠損値 2	296	87.6		
合計	338	100.0		

文字が多くて読みにくい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	10	3.0	100.0	100.0
欠損値 2	328	97.0		
合計	338	100.0		

記入方法の説明が足りない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	7	2.1	100.0	100.0
欠損値 2	331	97.9		
合計	338	100.0		

点数で回答するのが難しい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	125	37.0	100.0	100.0
欠損値 2	213	63.0		
合計	338	100.0		

関心のない分野は答えるのが難しい

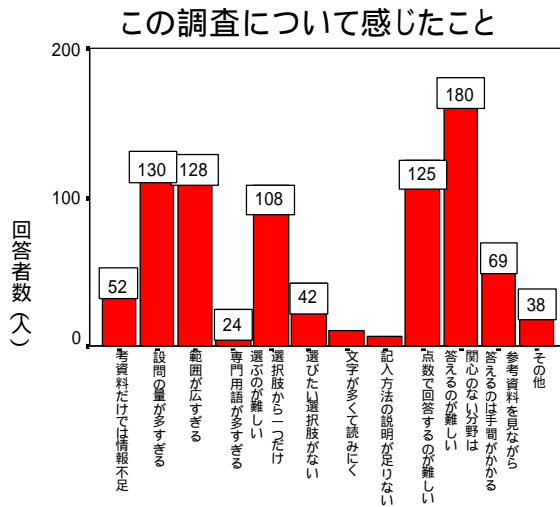
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	180	53.3	100.0	100.0
欠損値 2	158	46.7		
合計	338	100.0		

参考資料を見ながら答えるのは手間がかかる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	69	20.4	100.0	100.0
欠損値 2	269	79.6		
合計	338	100.0		

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	38	11.2	100.0	100.0
欠損値 2	300	88.8		
合計	338	100.0		



- この調査について感じたこと（複数回答）についてみると、「関心のない分野は答えるのが難しい」(180人)が最も多く、5割強である。以下、「設問の量が多すぎる」(130人)「範囲が広すぎる」(128人)「点数で回答するのが難しい」(125人)「選択肢から一つだけ選ぶのが難しい」(108人)などとなっている。

3-2-4 資料の有用性

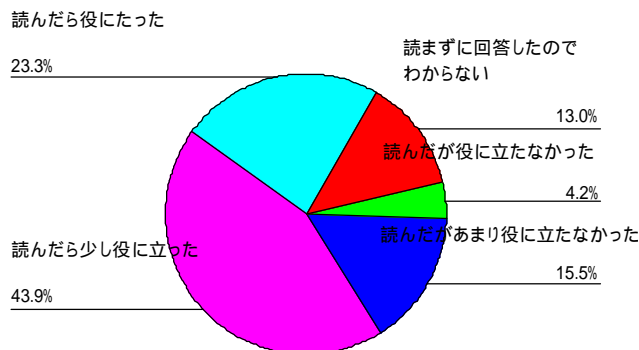
(1) 回答者全体

資料の有用性

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
読まずに回答したのでわからない	325	19.1	20.0	20.0
読んだが役に立たなかった	68	4.0	4.2	24.2
読んだがあまり役に立たなかった	242	14.2	14.9	39.1
読んだら少し役に立った	687	40.4	42.3	81.5
読んだら役に立った	301	17.7	18.5	100.0
合計	1623	95.5	100.0	
欠損値	6	76	4.5	
合計	1699	100.0		

資料の有用性

(n=330)



- 「読んだら役に立った」と「読んだら少し役に立った」を合わせた割合は、回答者全体で60.8%を占めている。
- 一方、「読まずに回答したのでわからない」も20.0%を占めている。

3-2-5 調査参加後の県政に関する知識量の変化

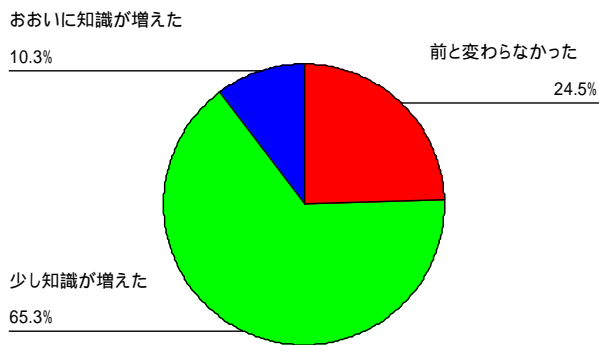
(1) 回答者全体

知識量の変化

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	前と変わらなかった	81	24.0	24.5	24.5
	少し知識が増えた	216	63.9	65.3	89.7
	おおいに知識が増えた	34	10.1	10.3	100.0
	合計	331	97.9	100.0	
欠損値	4	7	2.1		
合計		338	100.0		

知識量の変化

(n=331)



- ・ 「おおいに知識が増えた」「少し知識が増えた」を合わせた割合は、回答者全体の75.6%で、「前と変わらなかった」も24.5%と2割強を占めている。

3-2-6 調査参加後の県政に対する関心の変化

(1) 回答者全体

関心の変化

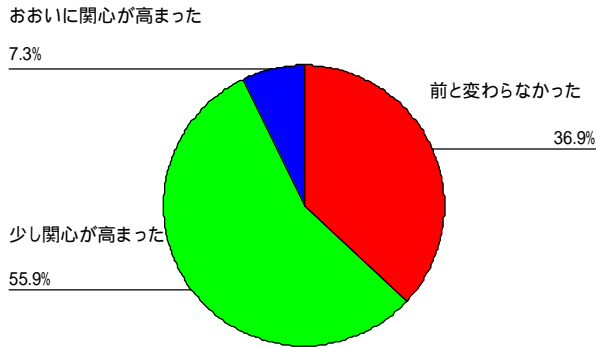
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	前と変わらなかった	122	36.1	36.9	36.9
	少し関心が高まった	185	54.7	55.9	92.7
	おおいに関心が高まった	24	7.1	7.3	100.0
	合計	331	97.9	100.0	
欠損値	4	7	2.1		
合計		338	100.0		

調査に対する評価

- ・ 「おいに関心が高まった」「少し関心が高まった」を合わせた割合は、回答者全体の63.2%で、「前と変わらなかった」も36.9%と4割弱を占めている。

関心の変化

(n=331)



3-2-7 調査の適切性

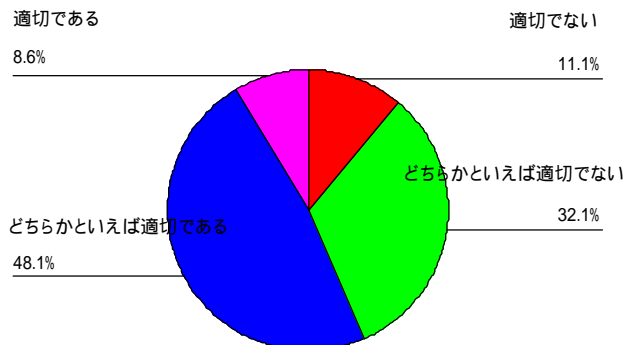
(1) 回答者全体

調査の適切性

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	適切でない	36	10.7	11.1	11.1
	どちらかといえば適切でない	104	30.8	32.1	43.2
	どちらかといえば適切である	156	46.2	48.1	91.4
	適切である	28	8.3	8.6	100.0
	合計	324	95.9	100.0	
欠損値	5	14	4.1		
合計		338	100.0		

調査の適切性

(n=324)



- ・ 「適切である」「どちらかといえば適切である」を合わせた割合は、回答者全体の56.7%にとどまり、「適切でない」「どちらかといえば適切である」を合わせた割合が43.2%と4割を超えている。

3 3 . 有識者（学識者等）満足度調査に対する評価

3-3-1 調査票記入の負担感

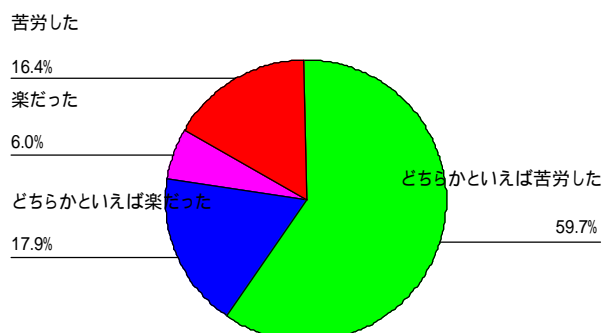
(1) 回答者全体

調査票記入負担感

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
苦勞した	11	15.9	16.4	16.4
どちらかといえば苦勞した	40	58.0	59.7	76.1
どちらかといえば楽だった	12	17.4	17.9	94.0
楽だった	4	5.8	6.0	100.0
合計	67	97.1	100.0	
欠損値	5	2	2.9	
合計	69	100.0		

調査票記入負担感

(n=67)



- ・ 「苦勞した」と「どちらかといえば苦勞した」を合わせた割合は76.1%を占め、回答者全体としては程度の差こそあれおよそ7割以上の方が何らかの負担を感じている結果が示された。

3-3-2 回答所要時間

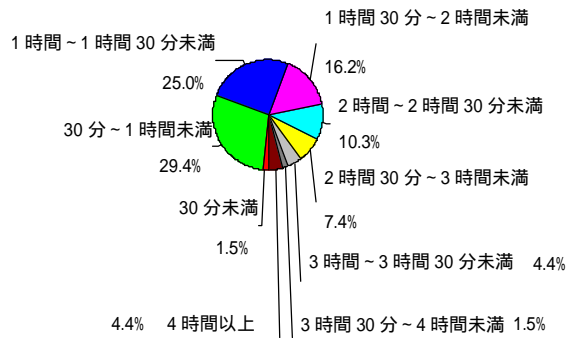
(1) 回答者全体

記入所要時間

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
30分未満	1	1.4	1.5	1.5
30分～1時間未満	20	29.0	29.4	30.9
1時間～1時間30分未満	17	24.6	25.0	55.9
1時間30分～2時間未満	11	15.9	16.2	72.1
2時間～2時間30分未満	7	10.1	10.3	82.4
2時間30分～3時間未満	5	7.2	7.4	89.7
3時間～3時間30分未満	3	4.3	4.4	94.1
3時間30分～4時間未満	1	1.4	1.5	95.6
4時間以上	3	4.3	4.4	100.0
合計	68	98.6	100.0	
欠損値	10	1	1.4	
合計	69	100.0		

記入所要時間

(n=68)



- ・ 回答者の69.1%が回答に1時間以上を費やしている。
- ・ その反面、およそ9割(89.7%)の人が3時間以内で回答していることがわかる。

3-3-3 この調査について感じたこと

(1) 回答者全体

参考資料だけでは情報不足

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	8	11.6	100.0	100.0
欠損値 2	61	88.4		
合計	69	100.0		

設問の量が多すぎる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	25	36.2	100.0	100.0
欠損値 2	44	63.8		
合計	69	100.0		

範囲が広すぎる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	29	42.0	100.0	100.0
欠損値 2	40	58.0		
合計	69	100.0		

専門用語が多すぎる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	3	4.3	100.0	100.0
欠損値 2	66	95.7		
合計	69	100.0		

選択肢から一つだけ選ぶのが難しい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	30	43.5	100.0	100.0
欠損値	2	39	56.5		
合計		69	100.0		

選びたい選択肢がない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	6	8.7	100.0	100.0
欠損値	2	63	91.3		
合計		69	100.0		

文字が多くて読みにくい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	1	1.4	100.0	100.0
欠損値	2	68	98.6		
合計		69	100.0		

記入方法の説明が足りない

		度数	パーセント
欠損値	2	69	100.0

点数で回答するのが難しい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	18	26.1	100.0	100.0
欠損値	2	51	73.9		
合計		69	100.0		

関心のない分野は答えるのが難しい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	31	44.9	100.0	100.0
欠損値	2	38	55.1		
合計		69	100.0		

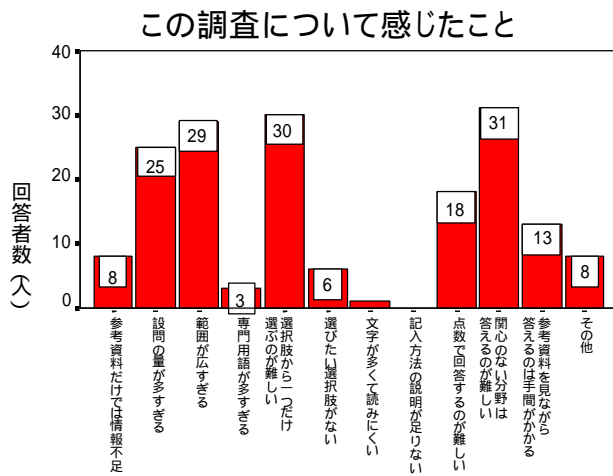
参考資料を見ながら答えるのは手間がかかる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	13	18.8	100.0	100.0
欠損値	2	56	81.2		
合計		69	100.0		

その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	8	11.6	100.0	100.0
欠損値	2	61	88.4		
合計		69	100.0		

調査に対する評価



- この調査について感じたこと（複数回答）についてみると、「関心のない分野は答えるのが難しい」(31人)が最も多い。以下、「選択肢から一つだけ選ぶのが難しい」(30人)、「範囲が広すぎる」(29人)、「設問の量が多すぎる」(25人)などとなっている。

3-3-4 資料の有用性

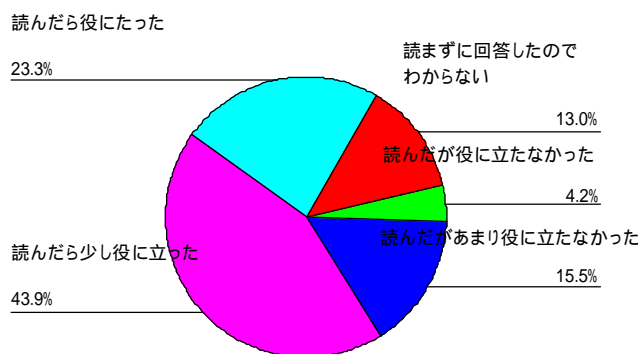
(1) 回答者全体

資料の有用性

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
読まずに回答したのでわからない	9	13.0	13.2	13.2
読んだが役に立たなかった	4	5.8	5.9	19.1
読んだがあまり役に立たなかった	10	14.5	14.7	33.8
読んだら少し役に立った	24	34.8	35.3	69.1
読んだら役にたった	21	30.4	30.9	100.0
合計	68	98.6	100.0	
欠損値	6	1	1.4	
合計	69	100.0		

資料の有用性

(n=330)



- 「読んだら役に立った」と「読んだら少し役に立った」を合わせた割合は、回答者全体で66.2%を占めている。
- 一方、「読んだが役に立たなかった」「読んだがあまり役に立たなかった」を合わせた割合も20.6%と2割に達している。

3-3-5 調査参加後の県政に関する知識量の変化

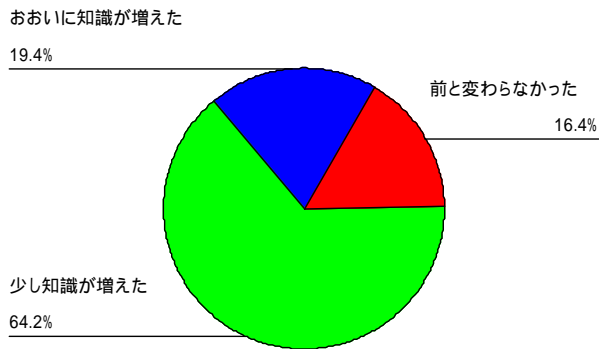
(1) 回答者全体

知識量の変化

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	前と変わらなかった	11	15.9	16.4	16.4
	少し知識が増えた	43	62.3	64.2	80.6
	おおいに知識が増えた	13	18.8	19.4	100.0
	合計	67	97.1	100.0	
欠損値	4	2	2.9		
合計		69	100.0		

知識量の変化

(n=67)



- ・ 「おおいに知識が増えた」「少し知識が増えた」を合わせた割合は、回答者全体の 83.6% を占めている。

3-3-6 調査参加後の県政に対する関心の変化

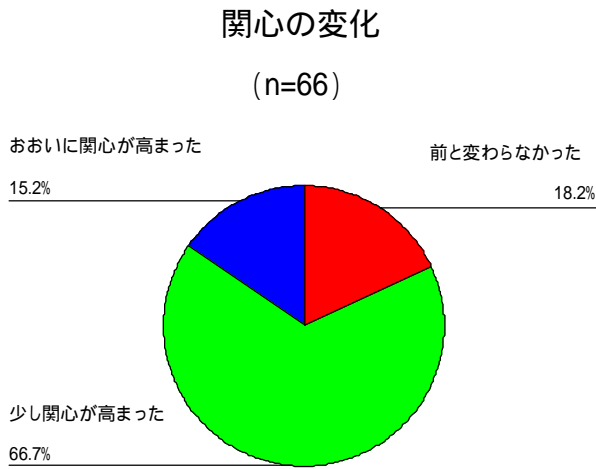
(1) 回答者全体

関心の変化

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	前と変わらなかった	12	17.4	18.2	18.2
	少し関心が高まった	44	63.8	66.7	84.8
	おおいに関心が高まった	10	14.5	15.2	100.0
	合計	66	95.7	100.0	
欠損値	4	3	4.3		
合計		69	100.0		

調査に対する評価

- ・ 「おいに関心が高まった」「少し関心が高まった」を合わせた割合は、回答者全体で81.9%を占めている。



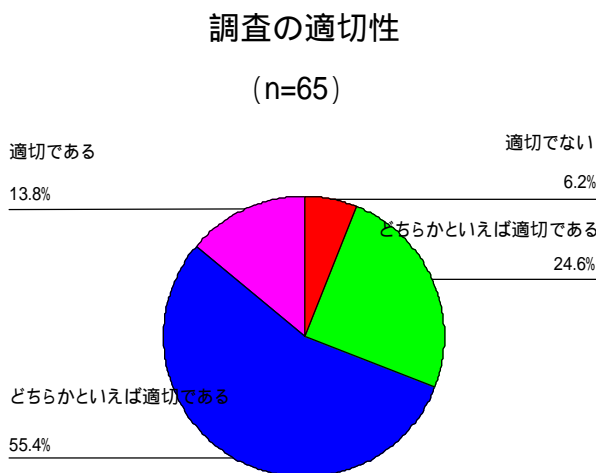
3-3-7 調査の適切性

(1) 回答者全体

調査の適切性

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	適切でない	4	5.8	6.2	6.2
	どちらかといえば適切でない	16	23.2	24.6	30.8
	どちらかといえば適切である	36	52.2	55.4	86.2
	適切である	9	13.0	13.8	100.0
	合計	65	94.2	100.0	
欠損値	5	4	5.8		
合計		69	100.0		

- ・ 「適切である」「どちらかといえば適切である」を合わせた割合は、回答者全体の69.2%で、「適切でない」「どちらかといえば適切である」を合わせた割合も30.8%と3割を超えている。



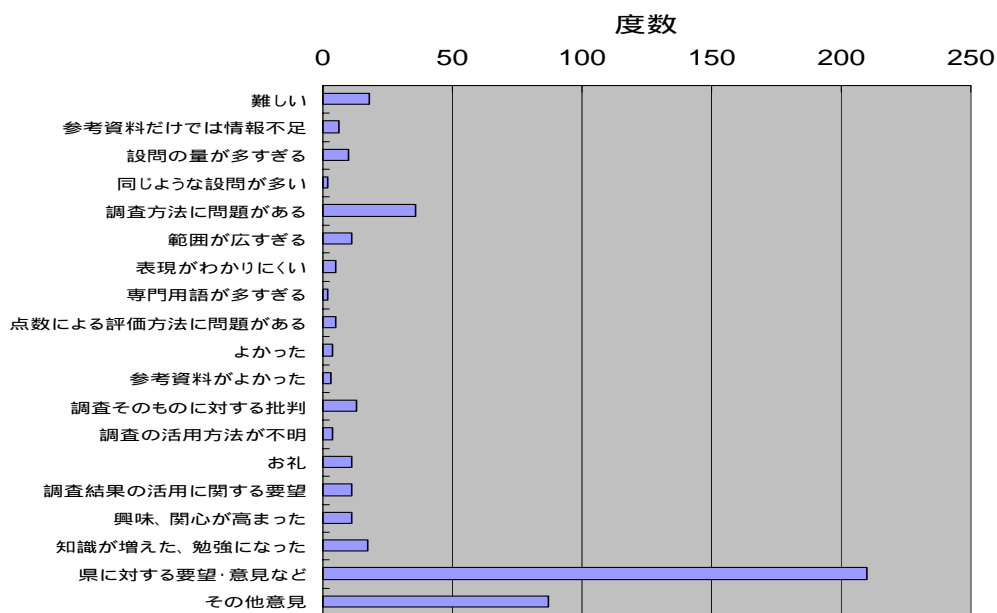
【補足】県民満足度調査に対する評価（自由回答について）

1. 調査に対する評価 設問9 - その他自由意見：一般県民

表 - 1 調査に対する評価 設問9 - その他自由意見：一般県民

	意見区分	度数	有効データ全体 に占める割合	分野別の 割合
1	難しい	18	3.86%	18.95%
2	参考資料だけでは情報不足	6	1.29%	6.32%
3	設問の量が多すぎる	10	2.15%	10.53%
4	同じような設問が多い	2	0.43%	2.11%
5	調査方法に問題がある	36	7.73%	37.89%
6	範囲が広すぎる	11	2.36%	11.58%
7	表現がわかりにくい	5	1.07%	5.26%
8	専門用語が多すぎる	2	0.43%	2.11%
9	点数による評価方法に問題がある	5	1.07%	5.26%
	調査内容マイナス評価 計	95	20.39%	100.00%
10	よかった	4	0.86%	57.14%
11	参考資料がよかった	3	0.64%	42.86%
	調査内容プラス評価 計	7	1.50%	100.00%
12	調査そのものに対する批判	13	2.79%	76.47%
13	調査の活用方法が不明	4	0.86%	23.53%
	調査自体マイナス評価 計	17	3.65%	100.00%
14	お礼	11	2.36%	22.00%
15	調査結果の活用に関する要望	11	2.36%	22.00%
16	興味、関心が高まった	11	2.36%	22.00%
17	知識が増えた、勉強になった	17	3.65%	34.00%
	調査自体プラス評価 計	50	10.73%	100.00%
18	県に対する要望・意見など	210	45.06%	70.71%
19	その他意見	87	18.67%	29.29%
	その他 計	297	63.73%	100.00%
	有効データ 合計	466	100.00%	

設問9 その他自由意見・全体（一般県民）



調査に対する評価

- ・ 「その他自由意見」に記載があった分の全体から見ると、調査内容の評価に関する回答はおよそ2割強であった。
- ・ このうち、マイナス評価の割合は全体のおよそ2割強でプラス評価を上回り、調査内容の中でみると、9割強を占めている。
- ・ マイナス評価の主な意見は、「調査方法に問題がある」が最も多く、以下「難しい」「範囲が広すぎる」「設問の量が多すぎる」などとなっている。
- ・ これに対し、調査自体の評価に関する回答はおよそ14%であった。
- ・ このうち、プラス評価は全体の1割強でマイナス評価を上回り、調査自体の中でみると、およそ75%を占めている。

プラス評価の主な意見は、「知識が増えた、勉強になった」が最も多く、以下「調査結果の活用に関する要望」「興味、関心が高まった」などとなっている。

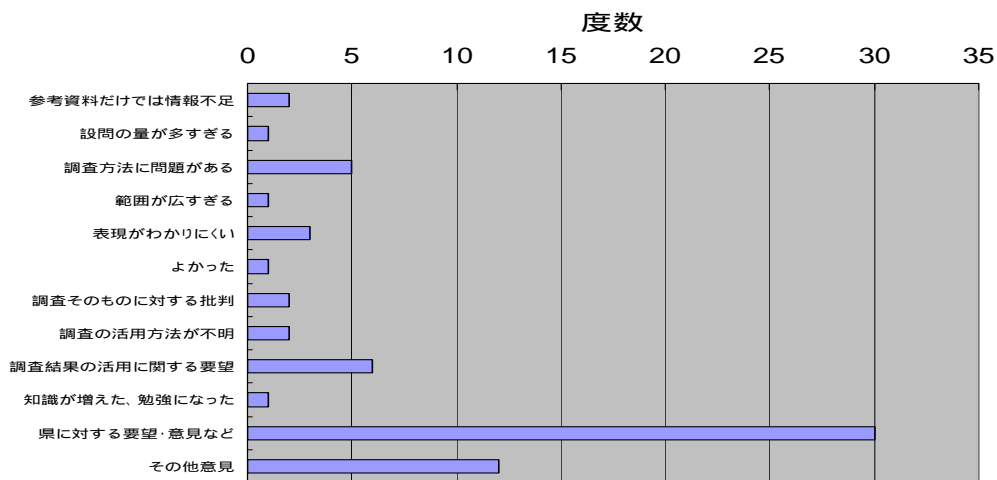
一方、マイナス評価では「調査そのものに対する批判」にかかわる回答が目についている。

2. 調査に対する評価 設問9 - その他自由意見：有識者（市町村職員）

表 - 2 調査に対する評価 設問9 - その他自由意見：有識者（市町村職員）

意見区分	度数	有効データ全体に占める割合	分野別の割合
参考資料だけでは情報不足	2	3.03%	16.67%
設問の量が多すぎる	1	1.52%	8.33%
調査方法に問題がある	5	7.58%	41.67%
範囲が広すぎる	1	1.52%	8.33%
表現がわかりにくい	3	4.55%	25.00%
調査内容マイナス評価 計	12	18.18%	100.00%
よかった	1	1.52%	100.00%
調査内容プラス評価 計	1	1.52%	100.00%
調査そのものに対する批判	2	3.03%	50.00%
調査の活用方法が不明	2	3.03%	50.00%
調査自体マイナス評価 計	4	6.06%	100.00%
調査結果の活用に関する要望	6	9.09%	85.71%
知識が増えた、勉強になった	1	1.52%	14.29%
調査自体プラス評価 計	7	10.61%	100.00%
県に対する要望・意見など	30	45.45%	71.43%
その他意見	12	18.18%	28.57%
その他 計	42	63.64%	100.00%
有効データ 合計	66	100.00%	

設問9 その他自由意見・全体（市町村職員）



3. 調査に対する評価 設問9 - その他自由意見：有識者（学識者等）

表 - 3 調査に対する評価 設問9 - その他自由意見：有識者（学識者等）

	意見区分	度数	有効データ全体 に占める割合	分野別の 割合
1	範囲が広すぎる	1	5.88%	100.00%
	調査内容マイナス評価 計	1	5.88%	100.00%
2	調査の活用方法が不明	1	5.88%	100.00%
	調査自体マイナス評価 計	1	5.88%	100.00%
3	知識が増えた、勉強になった	1	5.88%	100.00%
	調査自体プラス評価 計	1	5.88%	100.00%
4	県に対する要望・意見など	13	76.47%	86.67%
5	その他意見	2	11.76%	13.33%
	その他 計	15	88.24%	100.00%
	有効データ 合計	17	100.00%	

設問9 その他自由意見・全体(学識者等)

